

事業所名グループホームひまわり

(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付平成20年 3月31日

評価機関名㈱東京リーガルマインド

(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員

A:現職 社会福祉法人生活指導員

資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

B:現職 高等学校非常勤講師

資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター

自主評価結果を見る

(事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る

(評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	○入居者の人格を尊重して尊厳を守り、入居者が日々穏やかに安心して過ごせる生活の実現を目指している。 ○入居者の個性を重んじ、心の中にある思いや望みをそのまま受け止め、個別ケアを徹底するように努力している。 ○個々のペースを尊重し、自己決定を大切にしている。入居者の自由な選択で、個々のニーズに沿ったサービスを提供するように努めている。 ○法人内の職員同士の連携を密にし、職員のマナーや介護意識についてもしっかりとした育成を行い、質の高いサービスを提供して活性化したホーム生活を目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	○職員は常に入居者の横に座り、いつも誰かが傍らにいて孤独を感じないように配慮している。意志確認が困難な人の表情や目の動きを見逃さず、入居者が安心して暮らせるように配慮している。 ○職員の都合では無く入居者個々のペースを優先し、入居者個々の役割と居場所を確保して、自信と生きがいを持ってその人らしい落ち着いた暮らしの場所を作るように努力している。 ○入居者の人格を尊重し、過去の生活環境の継続を大切にし、常に本人の立場に立ってその人らしい暮らしを支え、入居者が平穏に過ごせるように工夫している。 ○犬を飼っており、散歩に連れて行ったり入居者の話題作り等癒しに役立っている。アニマルセラピーを実施して入居者の落ち着いた生活作りの一環となるように取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○岡山市南部の広い田園地帯の中にホームはあり、母体となっている総合病院が直ぐ近くにあり、緊急時には直ぐに対応してもらえる。また、日常の健康管理に関しても看護師が常駐しており、入居者は安心してホーム生活が送れる。

○職員の介護やサポートの体制が充実しており、同じ法人内のグループホームと連携を取り合い、入居者に対して充実した個別ケアと質の高いサービスを提供するように努力している。

○認知症介護に取り組む職員の意識が強く、入居者・来訪者に対するマナー教育がしっかりしている。職員の丁寧な接遇態度は、入居者の笑顔となって表れ、家族にも喜ばれている。

○全員が自主評価を行い、独自に作成した内部評価も実施している。外部評価機関も1機関に固定せず、複数の評価機関で外部評価を受け、ホームの運営・ケアサービスの向上に励んでいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特段に改善点として指摘すべき箇所はない。
○地域との交流について自主評価では要改善としているが、着実に地域交流を推進している。運営推進会議を軸に、地域に対してグループホームの趣旨や内容を積極的に啓発して理解を深め、更なる入居者の生活充実に繋げていく事を期待する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	○入居者個々の職歴・能力をよく把握して一人ひとりの得意な事を見つけ、日常の活動の中で発揮できるように支援している。 ○居室にはノックをして許可を得てから入る等、入居者のプライバシーに配慮している。個人の自己決定を尊重し、入居者のペースに合わせた日課になるよう配慮している。入居者の話をゆっくりと丁寧に聞き、入居者の人格を尊重した責任のある受け答えをしている。 ○個人記録は、事務室で責任を持って管理しており、個人情報の保護を厳守している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	○職員研修を積極的に進めており、採用時には初任者研修を実施し、その後も定期的に研修を行っている。外部での研修内容は、職員全員に伝達して情報を共有するようにしており、介護サービスの向上へ向けて努力している。 ○職員全員が自主評価と法人が独自に設定した内部評価を実施し、職員それぞれが個々のケアを行う意味をしっかりと理解している。また、自主評価・勉強会を通じて職員の士気を高めている。 ○謙虚に入居者の実態を見据え、入居者・家族の心情の理解に努めている。 ○入居者が一人で外出する場合には、入居者の安全に配慮して携帯電話を所持してもらい、連絡が取れるようにしている。 ○建物の2階にガームがあり、出入りの不自由さが入居者の心理的抑圧にならないよう、1階の玄関は施錠せず閉塞感を与えないようにしている。また、入居者の安全を常時チェックできるように工夫している。 ○ヒヤリハットや細かい事故も漏らさず事故報告書に記録し、職員間で詳しく検討してマニュアルを整備し、再発防止に努力している。		